

第8期 事業報告

2016年9月1日～2017年8月31日

公益社団法人
日本サードセクター経営者協会

I 基本方針

1. 事業に関する方針

政府・行政(第一セクター)や企業(第二セクター)に比べて力量が乏しく分断されていたサードセクター組織が連携・協力し社会的存在感が小さかった日本のサードセクターの形成を目指しています。ビジョンと活力あふれるサードセクターが加わることで、三つのセクターがそれぞれ適切な役割を果たす多元的な社会の実現を目指しています。設立時の理念の確かさを自覚し、下記に焦点を当て、事業を展開しました。

- ・ 経営者の孤軍奮闘状況とセクター内部の縦割り構造の解消
- ・ 個々の非営利組織に求められている、自律的で成果を追求した経営力の向上
- ・ 公共サービス改革へのセクターとしての方針の表明と対応

サードセクター組織経営者の能力開発

日本サードセクター経営者協会(以下、JACEVO)では、これまでにサードセクター組織の経営者を対象としたセミナーやシンポジウムの開催、サードセクター組織を起業する方の起業支援を行ってきました。そのことを基盤に広くサードセクター組織が法人形態や活動分野を超えて、地域や社会の様々な課題の解決や今後の展望を見据えて、サードセクター組織の経営者同士の横のつながりを強化するための機会を提供しました。

サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援

サードセクター組織の起業支援、および経営支援を行いました。近年、ソーシャルインパクト評価の必要性が提唱されています。私たちは、ツリー型ロジック・モデル・シートを活用し、コンサルティングを行っています。

ツリー型ロジック・モデル・シートは日本版セオリー・オブ・チェンジであり、評価のためだけのツールではなく、ビジョン達成のために魅力ある事業を企画立案し、事業とビジョンの関係を可視化することで、実施における全体の見取り図となります。

作成したツリー型ロジック・モデル・シートを活用し、成果指標などを設定し、事前評価、論理評価を行い、事業を実践したのち、うまくいっているかどうかを評価、さらに改善していきます。このように、企画立案(P)-実施(D)-評価(C)-改善(A)のマネジメントサイクルに関与することで、成果をうみだし、その過程を可視化していきます。

ビジョンを明確にし、日本版セオリーオブチェンジ=ロジック・モデル・シートとビジネス・モデル・シートを活用し、社会的価値と経済的価値を創出する経営ができるように支援を行っています。

サードセクターの在り方に関する調査・研究と提言活動

子ども子育て支援新制度の施行により、保育所の民間参入規制がなくなりました。このことにより、介護保険制度、障害者総合支援法などとともに、営利・非営利組織が切磋琢磨し利用者のニーズに応えるべく質の競争することとなりました。また、社会福祉法の改正により、社会福祉法人がより公益的な活動を展開するようになると思われます。これは伝統的なサードセクター組織が自己改革する機会でもあり、新しいサードセクター組織が成長するチャンスでもあります。制度が機能するための研究や制度を活かす発信を行いました。

また、直接対価を得にくい活動をしているサードセクター組織は多様な資源を引き付けて活動をします。そこで、自らの活動の成果をわかりやすくステークホルダーに示したり、効果的にアピールすることが必要となってきました。JACEVOがサードセクター組織の経営支援のために開発した、日本版セオリーオブチェンジ=ロジック・モデル・シートの活用を発信しました。

2. 運営に関する方針

これまで JACEVO が支援したサードセクター組織と連携し、東京都大田区、熊本において、JACEVO の設立時の理念実現に向けての事業の柱のひとつである「伸ばす」事業として、人材発掘と育成を重点的に行いました。

ツリー型ロジックモデルの作成支援ができる人材を養成し、支援のインフラ網の構築に務めました。

II 事業報告

1. サードセクター組織経営者の能力開発事業

1) 女性の経営者が互いの悩みを相談し、思いを意見交換する部会を開催しました。

・大田地区部会

日時:2016年9月15日(木)13時～15時

内容:話題提供 立山恵子(株式会社金羊社執行役員)

参加者:8名

日時:2016年10月12日(水)10時～12時

内容:話題提供 岡智子(特定非営利活動法人男女共同参画おおた)

参加者:7名

日時:2017年1月18日(木)10時30分～12時

内容:話題提供 坂田静香(特定非営利活動法人男女共同参画おた)

参加者:7名

2)「民の担う公共」等サードセクターの基本的なあり方について、時々テーマを設定し、基調講演、パネルディスカッションを軸に知見を高めるための年次大会を実施しました。

テーマ:「ソーシャルインパクト評価とロジックモデルの活用」

日時:2016年12月14日(水)13:00～16:30

参加者:46名

会場

公益財団法人 日本財団 (The Nippon Foundation) 2階 大会議室

〒107-8404 東京都港区赤坂1丁目2番2号日本財団ビル

内容:

社会的インパクト評価のツールとしてロジックモデルが注目されています。

ロジックモデルはいろいろありますが、後房雄(名古屋大学大学院法学研究科教授、日本公共政策学会会長)が考案したツリー型ロジックモデルの概要と活用について説明しました。また実際に作成された団体のお話を聞きました。

13:00～13:15 開会挨拶

主催者挨拶

共催者挨拶(日本財団 CANPAN プロジェクト説明)

13:15～13:45 「ツリー型ロジックモデルの概要と活用」

後房雄(名古屋大学大学院法学研究科教授、日本公共政策学会会長)

13:45～15:00 事例報告

・導入の動機

・事例説明(ロジックモデルレポート)

山崎宏氏(特定非営利活動法人ホールアース研究所)

「次世代によるさらなる成長のために」

園田敬子氏(特定非営利活動法人環境ネットワークくまもと)

「持続可能な地域づくりのために」

藤岡喜美子(公益社団法人日本サードセクター経営者協会)

「市民がつくったまちづくり通信簿」

愛知県東海市、愛西市、豊明市などの事例

15:00～15:10 休憩

15:10～16:25 「取り組もうロジックモデル」

パネルディスカッション

- ・作成における課題と対策
- ・ロジックモデルを作成し、よかったこと、工夫したこと
- ・社会的インパクト評価とロジックモデル活用の方策

パネラー

山崎宏氏、園田敬子氏、藤岡喜美子

コーディネーター 後房雄

16:25～16:30 閉会挨拶

2. サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援事業

1) 地域社会雇用創造事業

社会的企業の人材養成、社会起業家の起業支援を東京都大田区で開催しました。

iSB 公共未来塾 in 太田 (法人8期第1回)

日時：2017年1月19日(木)～3月7日(火)

2017年2月4日(土)～3月18日(土)

参加者：7名

会場：パシオン TOKYO

iSB 公共未来塾 in 太田 (法人8期第2回)

日時：2017年6月17日～7月1日

参加者 3名

会場：パシオン TOKYO

2) フルコストリカバリーセミナー事業

ACEVO のフルコストリカバリーの本を翻訳し製本してあります。それを活用し、起業塾などで、フルコストリカバリーの考え方を広めていました。

3) セミナーの実施

サードセクター組織の自立的な経営のために役立つセミナーを開催しました。

テーマ：「あったらいいなを大田区の匠がカタチにする」

日時：2017年3月10日(金) 13時～16時

場所：biz BEACH CoWorking 大田区産業プラザ PiO 2F

○女性のアンペイドワークを経済社会へ ～女性の毎日のケアの知力から～
公益社団法人日本サードセクター経営者協会 執行理事 藤岡喜美子

○『あったらいいな。』をどのように、商品・サービスにするのか
株式会社金羊社 執行役員 立山恵子子

○女性によるプレゼンテーション

- ・いつまでも自分の人生を歩むことができる、椅子になる杖
- ・温泉卵のおすそ分けできるパッケージ
- ・外国人や高齢者のための便利グッズ

○商品化のための課題や方策などの意見交換】

4) 講師派遣事業

政府・行政、企業、サードセクターに対し、各セクターの関係、法律、制度について等講師派遣を行いました。

派遣実績：5回

5) コンサルティングの実施

サードセクター組織に対し、成果を生み出す組織を目指し、経営コンサルティングを実施しました。

コンサルティング実績：15団体

3. サードセクターの在り方に関する調査、研究と提言事業

1) 自治体における公共サービス実施機能の実態調査

自治体の公共サービスの民間委託は加速すると思われます。先駆的な取り組みをしている自治体のヒヤリングを行っています。本調査は1年後の実施を予定しています。

2) サードセクター形成状況調査

サードセクターを構成する各種非営利法人や協同組合あるいは社会的企業の実像(実数、財政規模、従事者数等)および経営者の実態を把握し、サードセクター確立に向けた状況を把握した。独立行政法人経済産業省が実施する「日本におけるサードセクターの全体像とその経営に関する調査研修」研究会の委員として理事2名が参加し、アンケート調査の設計、調査結果の分析補助などを行いました。

3) 政府・行政との政策研究会の開催

政府・行政とサードセクター組織経営者により、社会をよくするためにはどのように一体的に関係を変化させていくのがよいのか、その関係の在り方、政府・行政が目標を達成するために、有効な政策を立案するための研究会を開催していきました。今期は実施のための準備をしました。法人9期においての実施を目指します。

4) 政府などへの提言活動

サードセクターの実態、今後の展望、政府・行政とサードセクター組織との関係の整理、サードセクターの形成およびサードセクター力量拡大のための基盤整備、経営力向上など、政府・行政に対し、委員会等を通じ提言を行いました。

※サードセクターとは

企業・行政と並ぶ三番目のセクターとして存在感を示す必要があることを意図した表現です。具体的には、社団法人・財団法人（一般、公益）、社会福祉法人、学校法人、医療法人、宗教法人、厚生保護法人、協同組合、社会的企業、特定非営利活動法人、市民活動団体、地縁組織等を含めた、社会的課題を解決する広範な組織群を示しています。

Ⅲ 組織の運営に係る事項

1. 社員総会の開催

日時:2016年11月20日(日)13:00~14:00

場所:

出席者:会員5名

定足数22名(正会員43名)に対し、出席者5名、議決権行使書13、委任状10名、合計28名であるため、総会の成立を確認した。

決議事項:第7期事業報告(案)の承認の件、第7期決算報告(案)の承認の件が承認された。

2. 理事会の開催

(1) 第1回理事会

日時:2016年10月26日(水)17:00~19:00

場所:パシオンTOKYO(東京都大田区大森北二丁目3番15号)

出席:決議に必要な出席理事の数4名、出席7名

報告事項：代表理事、執行理事より活動報告がなされた

決議事項：法人7期事業報告、法人8期決算報告が承認された

(2) 第2回理事会

日時：2016年11月20日（日）14:00～15:00

場所：パシオン TOKYO（東京都大田区大森北二丁目3番15号）

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席5名、欠席2名

報告事業：代表理事、執行理事より活動報告がなされた。

決議事項：会員の入会が承認された。

協議事項：年次大会、JACEVO 認定コンサルタント養成講座の内容について協議した。

(3) 第3回理事会

日時：2017年3月29日（水）17:00～18:00

場所：経済産業研究所1121会議（東京都千代田区霞が関1-3-1）

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名

報告事項：代表理事、執行理事より活動報告がなされた

会計検査院調査について報告がなされた。

決議事項：会員の入会が承認された。

協議事項：次回 JACEVO 認定コンサルタント養成講座の内容について協議がなされた。

(4) 第4回理事会

日時：2017年8月17日（木）18:00～20:00

場所：パシオン TOKYO（東京都大田区大森北二丁目3番15号）

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名

報告事業：代表理事、執行理事より活動報告がなされた

決議事項：法人9期事業計画、法人9期予算が承認された。

第7期事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年10月

公益社団法人日本サードセクター経営者協会